



# ホネホネすいぞくかん

松田素子作 大西成明写真 アリス館

海<sup>うみ</sup>や 川<sup>かわ</sup>などの 水<sup>みず</sup>の なかには、 魚<sup>さかな</sup>や 哺乳<sup>ほにゅう</sup>類<sup>るい</sup>など、た  
くさんの 種<sup>しゅ</sup>類<sup>るい</sup>の いきものが すんでいる。 ホネに ちゅう  
もくして みると、 その いきもの ようすが よく わかる。  
ヒトと 同<sup>おな</sup>じ 哺乳<sup>ほにゅう</sup>類<sup>るい</sup>の イルカ や くじら には、 陸<sup>りく</sup>を 歩<sup>ある</sup>  
ていた しょうこの 腰<sup>こし</sup>の ホネの なごりがある。 魚<sup>さかな</sup>は、 す  
べての いきもの なかで いちば  
ん ホネが おおく、 くらしかたも  
いろいろ。 姿<sup>すがた</sup>の ちがいは、 生<sup>い</sup>き  
かたの ちがいを おしえてくれる。  
水<sup>みず</sup>の中<sup>なか</sup>に 暮<sup>く</sup>らす いきもの たちを  
ホネから ながめた 写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>絵<sup>え</sup>本<sup>ほん</sup>。

